

丸一鋼管グループ 会社案内 CORPORATE PROFILE



542-0076

大阪府大阪市中央区難波 5丁目1番 60号 なんばスカイオ 29階

TEL 06-6643-0101

Everywhere, MARUICHI

MESSAGE

あなたのそばで見つけてください。
私たちがつくる銅管は建物や自転車、道路照明、家具など
生活のあらゆるところに使われています。

日本で見つけてください。私たちの拠点は、日本全国にあります。

世界で見つけてください。私たちの仲間は、世界中にいます。

世界中の幸せを骨組みから支える、
どこにでもある、たったひとつの会社。

私たちは、生活のどこにでもある、
日本のどこにでもある、世界のどこにでもある
たったひとつの会社になりたい。

常に未来に前のめりに。

ものづくりの未来に希望を持ち
新しい技術に挑戦しながら、創造的であり続けます。

目次

P1-2 メッセージ

P3-4 マルイチプライド

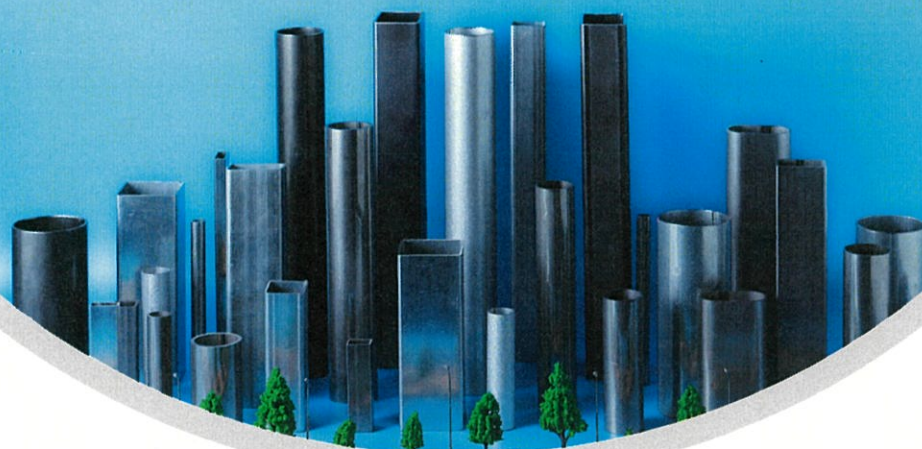
P5-6 拠点紹介

P7-8 事業紹介

P9-10 ここにもマルイチ

P11-12 歴史

P13-14 これからの私たち



MARUICHI PRIDE

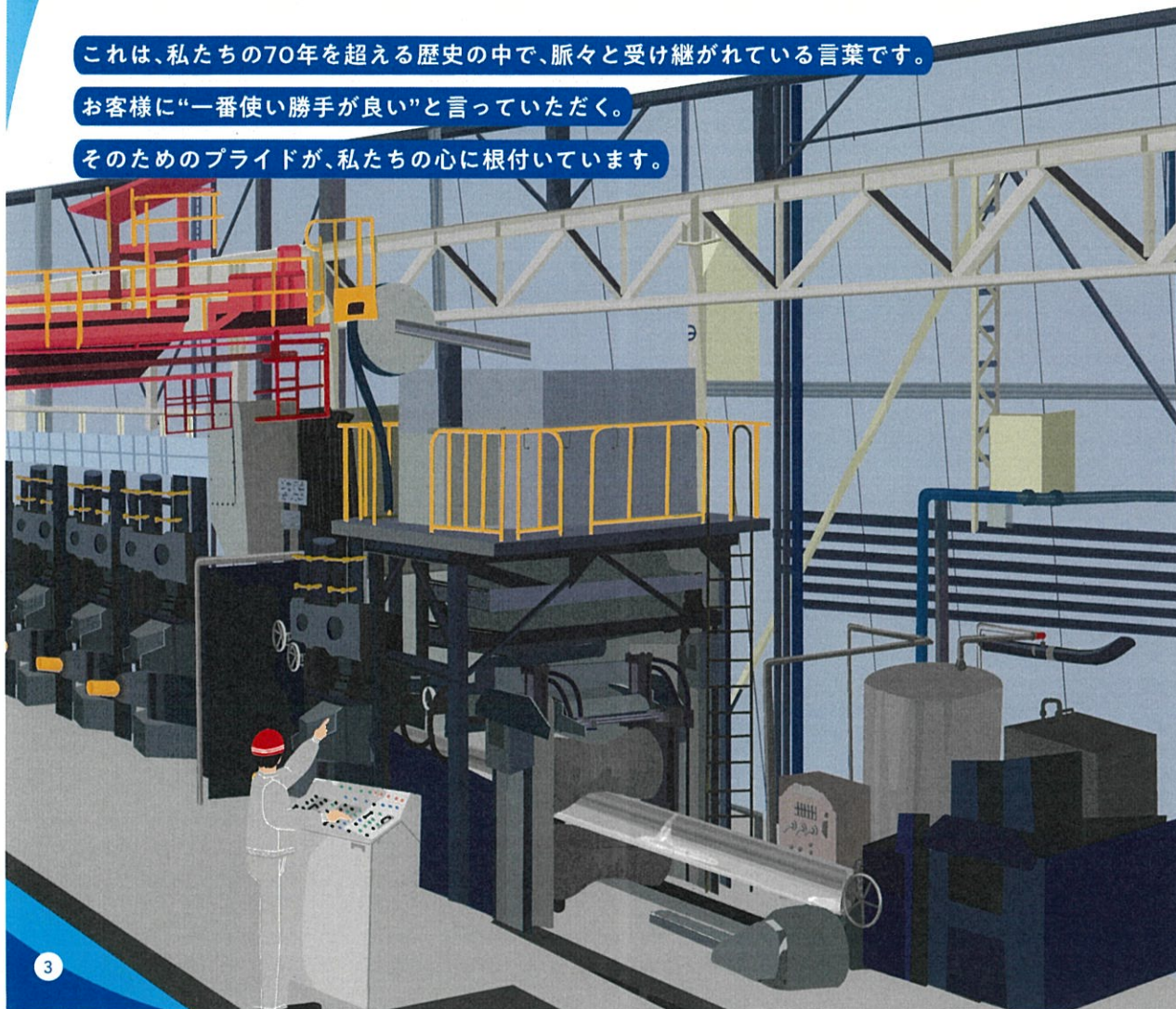
OUR PRIDE

良いパイプをつくろう

これは、私たちの70年を超える歴史の中で、脈々と受け継がれている言葉です。

お客様に“一番使い勝手が良い”と言っていたく。

そのためのプライドが、私たちの心に根付いています。



1.CRAFTSMANSHIP

確かな技術力

丸一鋼管の原点である溶接鋼管。丸いパイプは機械の力だけでは美しい丸にすることはできません。人の手による調整があってこそ、真円がでかあります。高品質なパイプづくりは伝承されてきた技術と知識のなせる技です。

2.VARIETY

豊富な品揃え

パイプの総合メーカーとして多品種生産・小ロットからの販売にも対応。柔軟な製造スキームのもと、製造方法は溶接・シームレス、大きさは径6mm～500mmと小さな機械部品のパイプから背の高いボール・照明柱まで幅広く手がけています。

3.POWER

国内シェア No.1

丸一鋼管の主力製品である溶接鋼管の日本におけるシェアは約26%で国内No.1。全国各地に生産・販売拠点を構えることで品質と納期を両立し、災害など緊急時の需要や短納期の要望に対応できる体制を備えています。

品質方針

私たち丸一鋼管は、品質方針にもとづいて企業活動を行っています。

当社はパイプのリーディングカンパニーとして、優れた製品を供給し、顧客の信頼に応えることにより、社会に貢献することを使命とします。

社員一人一人の知恵と情熱と行動により、製品の信頼性、技術力、顧客満足度、販売力を向上させるために、以下の活動を行います。

●目標設定

品質、業務の質および、品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善するために、活動目的および、活動目標を設定し活動します。

●定期的な見直し

本品質方針、活動目的および活動目標は定期的な見直しを行います。

●ルールの遵守

関連する法規、規格および社内のルールを遵守し、顧客要求事項を満足させる企業活動を行います。

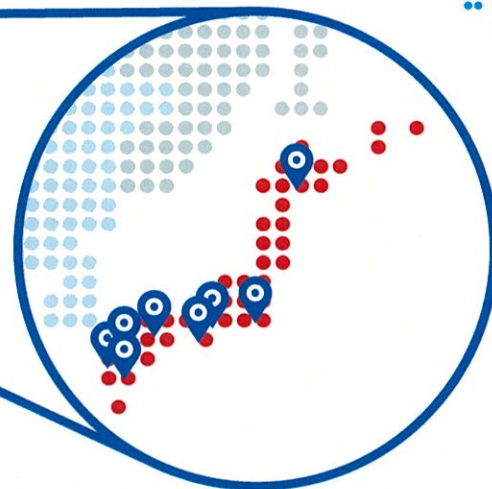
●意識の高揚

本方針を、全社員に周知し、社員一人一人の意識の高揚を図ります。

次世代造管機プロジェクト

機械メーカーと協業し、造管機の自動化に取り組んでいます。身体に負担がかかる作業の自動化、また人の動きや感覚に依存せずに均質なパイプを成形する再現性機能の搭載を目指します。設備や操業面での自動化による省力化および安全確保、品質向上に加え、生産現場への女性や高齢者の更なる参画を目指します。

LOCAL×GLOBAL



LOCAL × ECO FRIENDLY

丸一鋼管は“地産地消”

需要地の近くに生産拠点を構えることで、生産したパイプをいち早くお客様へ届けます。また、物流コストを抑えるだけでなく、CO2の削減にも寄与しています。

● 主要生産拠点

東京工場
名古屋工場
堺工場
詫間工場
堺特品工場
鹿島特品工場

● 主要営業・販売拠点

札幌事務所
東京事務所
名古屋事務所
大阪事務所
広島事務所
福岡事務所
丸一鋼管株式会社
東京、大阪など全国14営業所

● 主要子会社

丸一鋼管株式会社
北海道丸一鋼管株式会社
九州丸一鋼管株式会社
四国丸一鋼管株式会社
株式会社アルファメタル
丸一ステンレス鋼管株式会社
東洋特殊鋼業株式会社
沖縄丸一株式会社
株式会社佐藤型鋼製作所

● ベトナム

Maruichi Sun Steel Joint Stock Company (SUNSCO)
Maruichi Sun Steel (Hanoi) Company Limited

● インド

MARUICHI KUMA STEEL TUBE PRIVATE LIMITED (KUMA)

● フィリピン

MARUICHI PHILIPPINES STEEL TUBE INC. (MPST)

● インドネシア

PT.Indonesia Steel Tube Works (ISTW)

● 米国

Maruichi American Corporation (MAC)
Maruichi Leavitt Pipe & Tube, LLC (Leavitt)
Maruichi Oregon Steel Tube, LLC (MOST)
MARUICHI NEBRASKA TUBE, LLC (MNT)
Maruichi Stainless Tube Texas Corporation (MST-X)

● メキシコ

MARUICHIMEX S.A. de C.V. (MMX)
Alphametal Mexico S.A. de C.V. (AMX)

OUR BUSINESS

丸一鋼管グループでは、各社の特色とシナジーを活かすことで製品に付加価値を付け、

より多くの品種を揃えたパイプの総合メーカーに成長しました。

幅広い分野で使われ、私たちの暮らしを支える製品を提供します。

鋼管事業

丸一鋼管グループで製造するパイプは、普通鋼とステンレス鋼を材料とし、製造方法により溶接鋼管と溶接部の無いシームレス鋼管に分類され、様々な用途に対応します。

普通鋼鋼管

普通鋼帯鋼（コイル）を原料とし、高周波溶接で製造する鋼管は、建造物・自動車部品・農業資材等、幅広い分野で使用され、社会インフラを支えています。また、製造されたパイプは、北海道から沖縄まで全国に配置された当社及び丸一鋼販(株)の営業・販売拠点から販売されています。

ステンレス鋼管

耐食性・耐熱性・強度に優れたステンレス鋼管は、厳しい腐食環境において使用され、今後半導体産業や脱炭素分野での需要拡大が見込まれます。

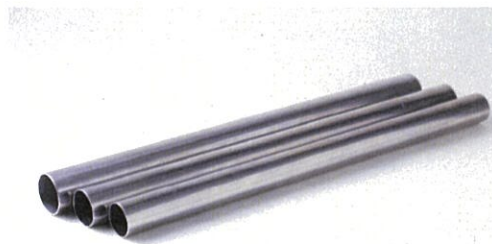
● ステンレス溶接鋼管

ステンレス帯鋼（コイル）を原料とし、高周波溶接、レーザー溶接や TIG 溶接にて製造されます。国内では 2027 年度に生産拡大を計画しています。

● ステンレスシームレス鋼管

丸一鋼管グループ会社 丸一ステンレス鋼管

ステンレス製丸棒の内側に穴をあけ、熱間で押し出して製造されます。溶接部がなく強度があるためより厳しい環境に適応します。化学プラントの配管や水素・アンモニア用の配管、半導体工場などに使用されます。



ステンレス溶接鋼管



ステンレスシームレス鋼管

表面処理鋼板事業

普通鋼帯鋼に亜鉛めっきを施し、外観、耐食性を向上させた溶融亜鉛めっき鋼板を製造しています。海外ではさらに塗装を施したカラー鋼板も製造しています。



特品事業

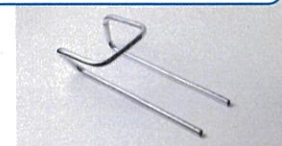
普通鋼鋼管を材料とし、街中で見かける街路灯、照明・信号・標識柱、高速道路のゲート等の鋼構造物の設計・製造を行っています。



鋼管加工事業

丸一鋼管グループ会社 アルファメタル

パイプの穴開け・曲げ・拡縮・溶接・焼入れ等を行う設備を備え、自動車部品、建築土木資材、建機農機部品、農業・物流資材等の製造・加工を行っています。



異形管事業

丸一鋼管グループ会社 東洋特殊鋼業

異形管とは丸管をベースとし、角・楕円・三～八角・半円・梯型・凹凸型・L 形・T 形・Y 形等に加工した製品で、機械装置や構造物の部材、装飾品など様々な分野で使用され、用途に応じ、オーダーメイドが可能です。



建築用鋼製下地材事業

丸一鋼管グループ会社 佐藤型鋼製作所

表面処理鋼板をロール成型し、壁、天井、床などに使用される角型鋼を製造しています。独自のコーナーかしめ技術により、耐震性、施工性等に優れたオリジナル製品の製造も行っています。



Everywhere, MARUICHI

ここにも
マルイチ

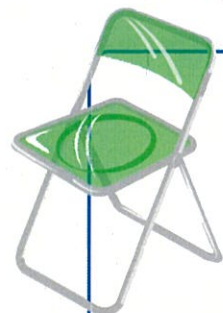
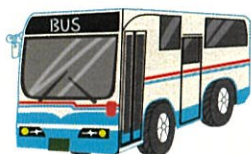
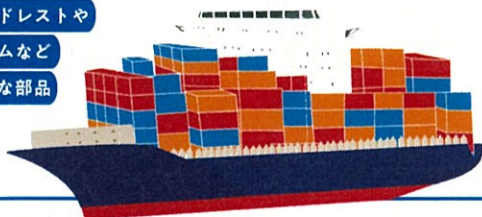
丸一鋼管グループのパイプは、私たちの生活の
あらゆるところで活躍しています。

RIDE

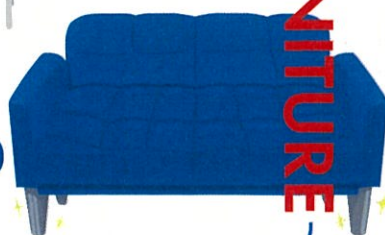
自動車のヘッドレストや
シートフレームなど
乗り物の様々な部品



乗る



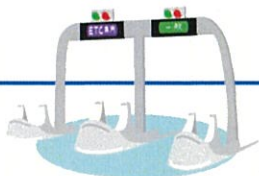
家具



机や椅子などの
家具の骨組み

FURNITURE

道路



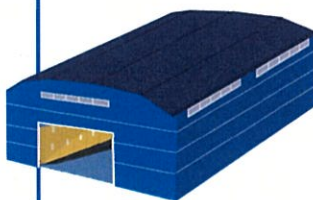
ETCガントリーや
道路照明や信号、
標識などの柱



TRAFFIC

BUILDING

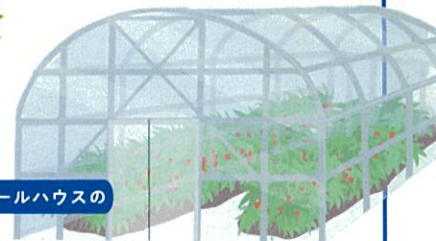
建物



建物の柱や、
建物の基礎として
打ち込まれる鋼管杭、
建設中の足場

FOOD

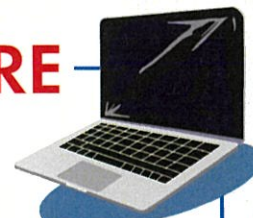
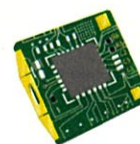
食べる



農業用ビニールハウスの
骨組みや
農業機械の部品

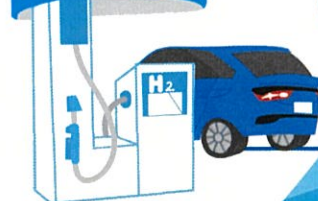
FUTURE

未来



半導体製造装置の配管や、
次世代エネルギー関連配管

H₂ HYDROGE



HISTORY

丸一鋼管の歴史は、1910年代に自転車部品の製造を始めた小さな町工場から始まります。「素材から良いものをつくりたい」という創業者の思いのもと、1940年代に鋼管製造メーカーに。鋼管のリーディングカンパニーとして、国内外の経済の発展に伴う市場の変化をいち早く捉え、需要に応じた製品の開発・生産・販売体制を構築し、グローバルに成長を遂げています。

- 1913** 大正
吉村福松が福松製作所を東成郡平野郷町(現・大阪市平野区)に創業
- 1915** 大正
「丸一」「マルイチ」を高標登録
- 1926** 大正
自転車部品製造の丸一製作所を発足
- 1935** 昭和
自転車鋼管の製造を開始
- 1940** 昭和
丸一鋼管工場と改称し自転車部門を分離
- 1948** 昭和
株式会社丸一鋼管製作所を設立
- 1956** 昭和
大阪出張所を改組し株式会社吉村商店(現・丸一鋼管株式会社)を設立
- 1957** 昭和
本社を大阪市東住吉区(現・平野区)加美神武町に移転、大阪工場を新設
- 1960** 昭和
丸一鋼管株式会社に商号変更
- 1961** 昭和
東京工場を新設(平成26年現・東京工場へ統合)
- 1962** 昭和
東京・大阪両証券取引所に上場
- 1965** 昭和
堺工場を新設
- 1966** 昭和
名古屋工場を新設(昭和59年現・名古屋工場へ統合)
- 1970** 昭和
北海道丸一鋼管株式会社を設立
- 1972** 昭和
堺特品工場を新設
インドネシア鋼管株式会社(ISTW)が操業開始
- 1973** 昭和
東京第二工場(現・東京工場)を新設
- 1974** 昭和
四国丸一鋼管株式会社を設立
九州丸一鋼管株式会社を設立
- 1977** 昭和
名古屋第二工場(現・名古屋工場)新設
- 1978** 昭和
本社を大阪市西區北堀江に移転
米国：カリフォルニア州にMaruichi American Corporation(MAC)(現・連結子会社)を設立
- 1989** 平成
詫間工場を新設
- 1995** 平成
鹿島特品工場を新設
- 2006** 平成
ベトナム：Sun Steel Corporation(現・Maruichi Sun Steel Joint Stock Company)(SUNSCO)の持分取得
東洋特殊鋼業株式会社の株式取得
- 2008** 平成
米国：MKK USA INCを設立
Leavitt Tube Company, LLC(現・Maruichi Leavitt Pipe & Tube, LLC)(Leavitt)の持分取得
ベトナム：Sun Steel (Hanoi) Co., Ltd(現・Maruichi Sun Steel (Hanoi) Co., Ltd.)を設立

- 2009** 平成
株式会社アルファメタルを子会社化
インド：KUMA STAINLESS TUBES LIMITED(現・MARUICHI KUMA STEEL TUBE PRIVATE LIMITED)(KUMA)の持分取得
- 2012** 平成
メキシコ：MARUICHIMEX S.A.de C.V.(MMX)を設立
- 2015** 平成
米国：Maruichi Oregon Steel Tube, LLC(MOST)を設立
- 2018** 平成
設立70周年。本社、大阪事務所、丸一鋼管株式会社本社、同大阪営業所を大阪市中央区難波の現在地に移転
フィリピン：MARUICHI PHILIPPINES STEEL TUBE INC.(MPST)を設立
- 2020** 令和
コベルコ鋼管株式会社(現・丸一ステンレス鋼管株式会社)の株式取得
- 2021** 令和
米国：Geneva Structural Tubes LLC(現・MARUICHI NEBRASKA TUBE, LLC)(MNT)の持分取得
- 2022** 令和
米国：Maruichi Stainless Tube Texas Corporation(MST-X)を設立
- 2023** 令和
東洋特殊鋼業株式会社を連結子会社化
- 2024** 令和
株式会社佐藤型鋼製作所の株式取得
- 2025** 令和
大阪・関西万博のブロンズパートナーとして協賛
会場の基礎を支える杭用鋼管、大阪ヘルスケアパビリオンの屋根、照明柱・設備柱が万博会場に採用



1913

1948

2048

製品実績・技術開発史



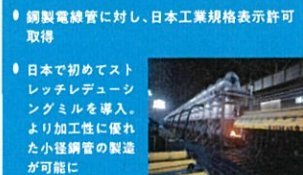
- 1930**
パイプの自家製造に着手(ドロワーベンチ方式)

- 1940**
1本ずつ溶接するドロワーベンチ方式から、コイルを使用した連続式造管方式へ近代化
メッキ鋼管を製造開始

- 1950**
ガス溶接から低周波電気抵抗溶接へ近代化
アビー・エトナ社の2インチ低周波抵抗溶接製管機を導入し、「ERW電線管」の製造に着手



- 1960**
低周波電気抵抗溶接から高周波電気抵抗溶接への移行により品質と生産性が大幅に向上
鋼製電線管に対し、日本工業規格表示許可取得
日本で初めてストレッチレデュッシングミルを導入。より加工性に優れた小径鋼管の製造が可能に
角形鋼管のJIS認可(業界初)



- 1980**
米国石油協会(API)の規格認定取得
堺工場に20インチミルを設置し、生産可能範囲を大幅拡大
材料部門の充実として詫間工場を新設。冷延・メッキコイルの品質が大幅に向上

- 1990**
BCR295建設大臣認定取得
阪神高速道路復旧工事に耐震構造の新型ボール納入
詫間工場でGF(ガルファン)製造開始

- 1970**
冷延コイルの自社生産開始

- 1980**
米国石油協会(API)の規格認定取得
堺工場に20インチミルを設置し、生産可能範囲を大幅拡大
材料部門の充実として詫間工場を新設。冷延・メッキコイルの品質が大幅に向上

- 1990**
BCR295建設大臣認定取得
阪神高速道路復旧工事に耐震構造の新型ボール納入
詫間工場でGF(ガルファン)製造開始

- 2000**
ハンディーパイプ(STK700 48.6×1.8)の製造開始
米国BIEC社と技術ライセンスを締結し、詫間工場でGL(55%Al-Znのめっき鋼板)を新製品「マルイチAL-Z55」として製造開始
BCR295国土交通大臣認定取得
特品事業部が新型ベース「マルイチHYPER BASE」を開発

- AL-Z55を「マルイチ エーエルゼット ゴーゴー」として高標登録
クロムフリー樹脂コーティング鋼管の販売を開始
特品事業部、新型ETCガントリーを日本道路公団に納入
ドアガードバー用1570MPa級鋼管製造開始

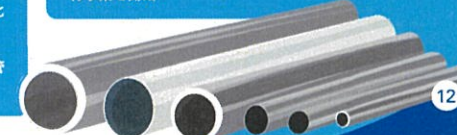
- クロムフリーAL-Z55N鋼製電線管を新たに商品開発し、製造・販売
電線管附属品製造のニテア社より設備一式を買い取り、大阪工場内で開始
AL-Z55N電線管附属品製造開始
ローラーコンベア用クロムフリーPZ鋼管製造開始

- 高強度GH用鋼管(ハウス強度が従来の1.5倍)製造開始
LiteSteel Beam(LSB)で国土交通大臣認定取得
東洋特殊鋼業株式会社を子会社化し、異形管事業を開始
株式会社アルファメタルを子会社化し、鋼管加工事業を開始

- インドKUMA社を子会社化し、排気管用ステンレス溶接鋼管の製造開始

- 2010**
プレめっき鋼管のJIS化(STK, STKM, STKR)
排気管用ステンレス溶接鋼管の国内製造開始(東京工場)
ベトナム/SUNSCO社でAPI 5L認証取得
ベトナム/SUNSCO社ハノイ、インドネシア/ISTW社、メキシコ/MMX社、フィリピン/MPST社でステンレス溶接鋼管製造開始

- 2020**
丸一ステンレス鋼管を子会社化し、ステンレスシームレス鋼管事業を開始
株式会社佐藤型鋼製作所を子会社化し、建築用鋼製下地材事業を開始



01 × 100

MARUICHI × HUNDRED

"サステナブルな未来社会をつくるために
そして、100年続く企業になるために
私たちはこれからも銅管を通じて
広く社会に貢献していきます。"

01×100はこれからの私たちの
無限の可能性。

経済の発展や街づくりとともに成長してきた
銅管事業をより深化させるとともに
半導体産業・脱炭素社会への貢献を
新たな成長事業として推進します。

1から始まった事業を
01(丸一)の力で100にする
私たちの挑戦は、まだまだ続きます。

01 × 100

に向けた取り組み

- DXの推進**
基幹系システムのクラウド化を実施し、製造から販売までの一連の業務の効率化を図るとともに、お客様の利便性向上も目指しています。また将来的には、製造現場において培われてきた文書化されていない暗黙知をAIに学習させ、現場ノウハウの体系化を図ります。
- イキイキと働ける環境づくり**
従業員への譲渡制限付株式(RS)の付与(一人平均2300株、877万円相当)を含む福利厚生制度の充実化や工場への空調設備の導入など、社員のエンゲージメント向上につながる取り組みを推進し、働きがいをもって成長できる環境づくりに取り組んでいきます。
- 半導体産業・次世代エネルギー産業への挑戦**
通常の銅管よりも耐食性が高いステンレス銅管は、高性能半導体や水素・アンモニアなどの次世代エネルギーの製造設備として活躍します。脱炭素社会への移行により高まる需要に対応するべく、設備増強と新工場建設を行い、ステンレス銅管事業を本格的に始動します。

わが社は、パイプのリーディング・カンパニーとして、すぐれた製品を供給し
顧客の信頼に応えることにより、社会に貢献することを使命とします。

わが社は、人間尊重を基本とし、取引先、社員、株主等、すべての人々を大切にします。

わが社は、社員一人一人の知恵と情熱と行動により、製品の信頼性、技術力、販売力を向上させ、
将来に向けての成長エネルギーと新しい価値の創造を推進します。

わが社は、社員にとって、その人生を託すにふさわしい、
素晴らしい、夢にあふれた会社であり続けます。



会社名 丸一銅管株式会社 (MARUICHI STEEL TUBE LTD.)

設立 1948年(昭和23年)3月1日

資本金 95億9,515万2,375円(2025年3月31日現在)

本社所在地 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波5丁目1番60号
なんばスカイオ 29階



公式サイト

公式YouTube

応募前職場見学



丸一銅管の工場を
見学してみよう



見学会のスケジュール

- **集合**
最寄り駅までお迎えに参ります
- **会社説明・見学時の注意事項説明**
当社のなりたち、本日の見学に関してご説明します
- **工場内工程見学**
ベテラン社員がエスコート！普段見られない現場をじっくりご見学ください
- **質疑応答**
今日の見学時の質問や働き方に関する質問など、どんどんお話ください
- **解散**
最寄り駅までお送りいたします

どんな話が聞けるの？

パイプの製造工程と当社の概要をお話しますが、専門的なお話よりも、大きな材料からいろんなパイプを作っているという「モノづくりの面白さ」をお届けできるように、心がけております！一緒に見学を回ってくれるスタッフはベテランぞろいですので、マニアックな質問もぜひ投げかけてみてください。



いつ・どこでやっているの？

毎年7月以降、各工場にて応募前工場見学会を開催しております。開催に関しては、適宜柔軟に対応いたします。



参加・お申し込み方法について

本工場見学は高等学校卒業予定の方が対象です。お申込みに関しては、進路ご担当の先生を通じてご連絡願います。

